

27 陳情 第 7 号	(仮称) オープンレジデンシア若宮町新築工事において、関係企業 に対し住民の声を真摯に聞くよう指導を求める陳情
付託委員会	環境建設委員会
受理及び付託 年 月 日	平成 27 年 6 月 2 日受理、平成 27 年 6 月 11 日付託
陳 情 者	新宿区若宮町————— ————— 代表 —————

## ( 要 旨 )

新宿区議会におかれては、「(仮称) オープンレジデンシア若宮町新築工事」にあたり、関係企業に対し、住民福祉の見地から、関係住民に十分説明し、かつ関係住民と真摯な協議を行うように新宿区としてご指導いただきたく陳情します。

## ( 理 由 )

## (1) これまでの経緯

私たちは、下記に記載する(仮称) オープンレジデンシア若宮町新築工事現場近辺に住む住民です。ここには昨年まで東京理科大学若宮校舎(アスベストを含む建物)がありましたが、本年 1 月に、住民には一片の通知があったのみで住民説明会も開催されずに校舎解体工事を始めようとしたため、住民側から説明会を開催するよう求め、説明会においては地域には幼児、お年寄りが多いので十分な配慮を求めましたが、週六日間騒音と振動により大きな迷惑を被っています。

そこで、マンション新築にあたっては予め住民説明会を開催し、住民に対し十分な説明をし、住民の納得を得たうえで工事を開始するよう申し入れ本年 4 月 21 日に要望事項を文書で申し入れました。これに対しなされた回答は、私たちが最も重視している北側隣家との間を 2 メートルあける(理科大学校舎建設時に当時の自治会長と大学で話し合っただけで決めた距離が存在し、地域の慣習となっていると説明した)、地域の交通の安全の為、自動車の停留・駐車スペースの確保を要求しましたが、「できません」の一言で拒否されました。また、建築確認申請は住民との話し合いが決着するまで延期する旨を要望しましたが、既に業者は申請しました。

## (2) 当地の特徴

当地は、大都会である東京の中心地に位置しつつも低階層の木造住宅やマンションで、敷地をマンションにする住民の方も地域環境を守る意識が強く、建設業者にもっと高層にして戸数を増やせませよと言われても、それを拒否して周りに十分な緑や空きスペースを確保して建設する方もいました。また、隣接地域には神楽坂を抱え、休日には神楽坂への観光客が若宮神社(マンション建設地の向かい)等へ当地域を含め情緒を味わいに来訪されます。

また、建設予定地から5メートル北西に茶道家家元の小堀遠州茶道宗家があり、全国各地及び外国からのお客（外務省紹介を含め）が訪問されます。

(3) 東京オリンピック

2020年には東京オリンピックが開催されます。東京が世界に誇れるものは、世界の最先端の知識と情報が渦巻くシステムだけではありません。そのような東京でありながら、それ以上に素晴らしいものは、江戸時代以来の環境を重視する姿勢です。この姿勢は神楽坂地域へ来訪される外国からのお客様への無言のおもてなしになると考えます。

(4) 住民の希望

私たちは新しい住民が入ってくる事は大歓迎です。入ってくる人々の希望も、当地域での文化・環境の中で生活したい、ということだと思います。

そして、このような新しい入居者の希望を守る唯一の立場の方は、ここに建物を作ろうとしている関係企業の方々です。

しかしながら誠に遺憾に思うのは、関係業者が私たちの要望を真摯に検討しているとは到底思えない対応であります（樹木1本植える要望も不可です）。

(5) 区議会へのお願い

どうか区議会におかれましては、関係業者に対して区民の声が届く事を目的に関係業者を指導賜りたく、陳情いたします。

記

- |   |        |   |
|---|--------|---|
| 1 | 建築物の名称 | (仮称) オープンレジデンス若宮町                                     |
| 2 | 工事場所   | 新宿区若宮町26番地(住居表示)<br>*第1種住居地域                          |
| 3 | 建物概要   | 用途: 共同住宅(空堀エリア6戸、<br>最大深度: 地下8メートル)<br>敷地面積: 1990.77㎡ |
| 4 | 着工予定   | 平成27年6月   |
| 5 | 建築主    | 株式会社_____   |
| 6 | 総合企画   | 有限会社_____   |
| 7 | 施工者    | 未定  |